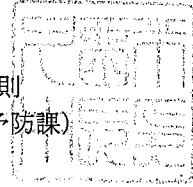


29保予第326号
平成29年9月4日



(一般社団法人) 小郡三井医師会
会長 白石 恒明 様

久留米市長 檜原 利則
(健康福祉部保健所保健予防課)



平成29年度自殺対策事業の後援について (依頼)

残暑の候、貴職におかれましてはますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より精神保健福祉行政の推進につきまして、格別の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当市では自殺対策の一環として、ストレスやうつ病等の正しい知識の普及を図ることを目的として下記のとおり講演会を開催いたします。

つきましては、本事業の趣旨をぜひご理解いただき、ご後援を賜りたいと考えております。ご検討よろしくお願いいたします。

なお、御承諾の上は、別添承諾書又は貴の所定承諾書を9月13日(水)までに御送付くださいますよう併せてお願い申し上げます。

記

職域向けメンタルヘルス講演会

日 時：平成29年11月20日(月) 14時30分～16時30分

場 所：久留米リサーチパーク研修室A

定 員：100名

対象者：企業及び事業所の経営者・人事労務担当者、その他関心のある方

※内容の詳細については別添事業計画・予算内訳等参照

〒830-0022
久留米市城南町15番地5 (久留米商工会館4階)
久留米市保健所 保健予防課
(担当：黒岩、堤)
TEL：0942-30-9728
FAX：0942-30-9833

事業計画・予算内訳（案）

1 事業計画

事業名	平成29年度自殺対策事業（職域向けメンタルヘルス講演会）
実施主体	久留米市
共催	久留米市雇用・就労推進協議会
後援・協賛・推薦団体等	福岡県、（一社）福岡県精神科病院協会、（一社）福岡県精神神経科診療所協会、福岡県精神保健福祉協会、福岡県地域精神保健協議会、（一社）福岡県精神保健福祉士協会、（一社）福岡県臨床心理士会、（一社）久留米医師会、（一社）浮羽医師会、（一社）小郡三井医師会、（一社）大川三潞医師会、（公社）久留米広域勤労者福祉サービスセンター
事業背景	近年、自殺者数が高い水準で推移しており、久留米市でも近年は50～70人が自殺で亡くなっている。特に、自殺は中高年男性に多く、この世代への自殺対策は喫緊の課題である。また、自殺者の75%は何らかの精神疾患を抱えており、その半数はうつ病を患っていたといわれている。 また、平成26年の労働安全衛生法の一部改正を受け、平成27年12月1日にストレスチェック制度が施行されるなど、労働者のメンタルヘルス対策が注目されている。 労働者の受けるストレスは拡大する傾向にあり、仕事に関して強い不安やストレスを感じている労働者が6割を超える状況にある中、労働者自身がストレスに強くなることや、職場全体でメンタルヘルス対策を進めていくことができるような環境作りが重要であり、毎年職域を対象としたメンタルヘルス講演会を開催している。 そのような中、職域における会議等の場で、「発達障害が疑われる職員がいるが、対応方法が分からない。発達障害に対する企業や周囲の対応方法について知りたい」等の声が聞かれた。 そこで今回は、企業及び事業所の経営者・人事労務担当者を対象に「成人の発達障害」をテーマにした講演会を実施し、職場におけるメンタルヘルス対策の更なる充実を図る。
事業目的	事業所の経営者や人事労務担当者のメンタルヘルスに対する意識の向上と職場におけるメンタルヘルス対策の充実を目的として実施する。
日時	平成29年11月20日（月）14時30分～16時30分
内容	演題：「職場における大人の発達障害の理解と支援」（仮） 講師：大江 美佐里 氏（久留米大学 医学部神経精神医学講座 講師）
会場	久留米リサーチ・パーク 研修室A
入場料	無料
その他（対象者）	企業及び事業所の経営者・人事労務担当者、その他関心のある方（定員100名）

2 予算内訳

費目	予算額	計算基礎（明細）
報償費（謝金）	¥ 29,160	講師謝金（@9,720円×3時間）
費用弁償	¥ -	
印刷製本費	¥ 45,000	チラシ印刷費等
食糧費	¥ 300	講師お茶代（@150円×2本）
使用料及び賃借料	¥ 69,000	会場使用料、空調費、備品等
合計	¥ 143,460	

承 諾 書

平成29年度自殺対策事業（職域向けメンタルヘルス講演会）について、後援名義の使用を承諾します。

平成29年 月 日

団体名

代表者名

印

久留米市長 檜原 利則 あて